

令和7年度 鳴子小学校努力点

I 主題

鳴子・スクール・イノベーション

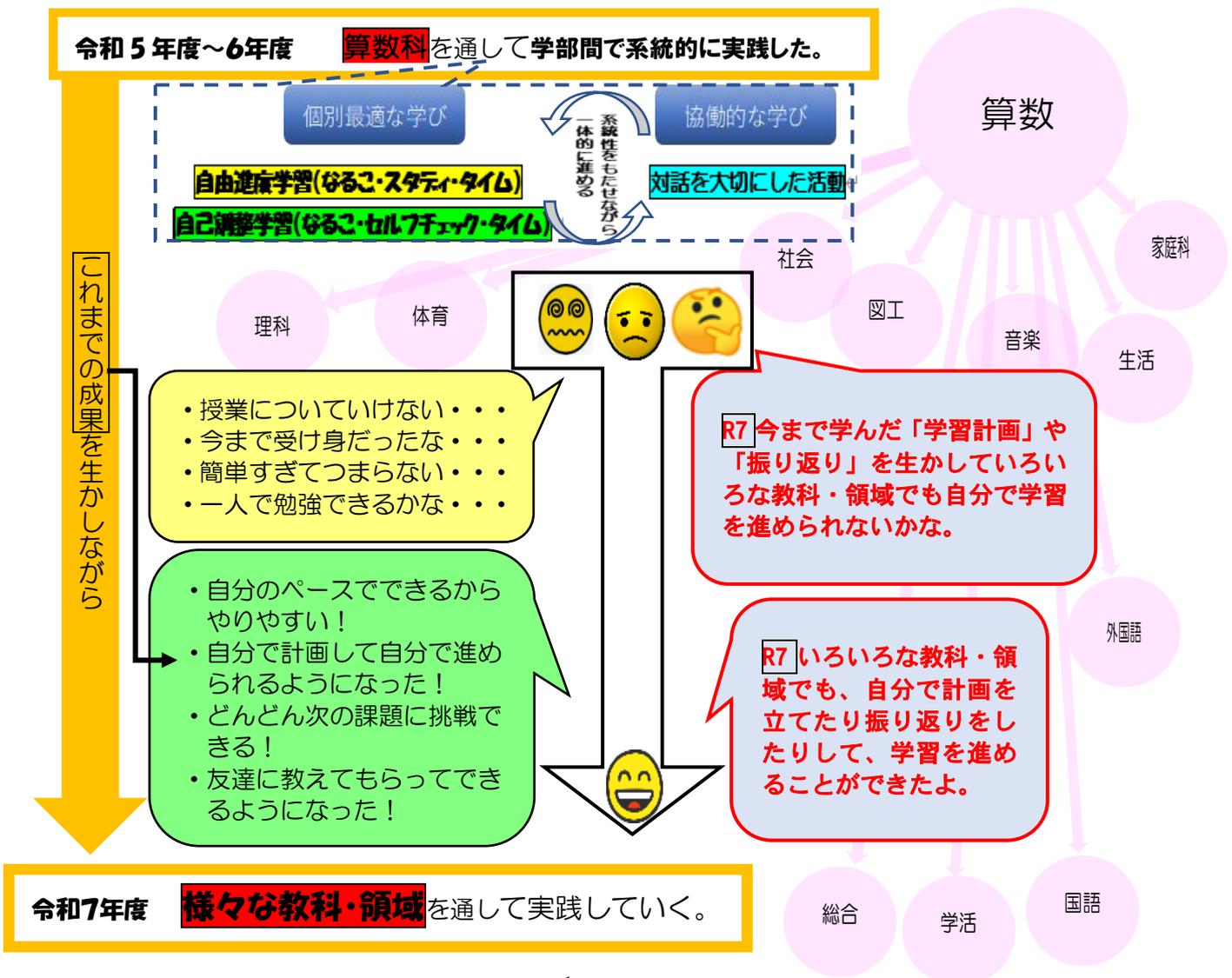
—みんなで学ぼう 自ら学ぼう できた！分かった！を実感しよう—

II 主題設定の理由

「ナゴヤ学びのコンパス」において、「自分に合ったペースや方法で学ぶ（個別最適な学び）」「多様な人と学び合う（協働的な学び）」こと等が、子どもの学びの姿として重視されている。

令和5年度より、算数科を中心に、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて実践を進めてきた。算数科の学びにおいて、学年間での系統性をもたせて学校全体で充実に向けて実践を進めることができたものの、算数科以外の教科において充実が必要だということが課題としてあがった。

そこで、算数科にとどまらず様々な教科・領域において、個別最適な学びの「自由進度学習」と「自己調整学習」とを重点に据えて実践を進めることで、子どもたちの発達に沿いながら多様な個性を最大限に生かすとともに、誰一人取り残さない教育の実現を目指していくようにする。



III 研究の方法

単元・題材の学習過程の中に次のことを取り入れていくようにする。

- (1) 一人一人の学びのペースに対応した自由進度学習「なるこ・スタディ・タイム」
- (2) 一人一人が学びの状況を把握する自己調整学習「なるこ・セルフチェック・タイム」

令和5・6年度のネタリストから、指導計画や指導過程、学習プリントについて生かせるものについて積極的に活用していく。